未然に災害を防ぐために

未曽有の被害をもたらした東日本大震災から5年が経過し、私たちの暮らしも徐々に元の生活に戻ってきました。

　しかし、私たちの生命・財産に被害をもたらす災害はいつ・どのように起こるか予測がつきません。自分自身を、家族を、そして地域を守るためには、何よりも一人ひとりが防災意識を持って、常日ごろから災害に備えるとともに、地域の防災力を高めることが重要です。

　身近に発生するかもしれない災害の対策などを、一緒に考えてみましょう。

問合せ 防災安全課消防・危機防災担当　電話23-5144

地震

　地震はいつ発生するか予測が難しい災害です。そのため、日ごろの備えや心構えが重要です。

日ごろの備え

①非常持ち出し品を準備しておく

②家具類の転倒・落下・移動防止対策をする

③食器棚や窓ガラスなどの飛散防止措置をする

④懐中電灯をすぐに使える場所に置いておく

⑤地震時の出火防止や初期消火など、家族の役割分担を決めておく

⑥家族で避難場所や避難経路を確認しておく

⑦隣近所との協力体制を話し合っておく

地震が発生した場合

①手近な座布団や机の下などで身を守り、屋外の安全な場所に一時避難する

②揺れがおさまったら、火の元を点検する

③大きな地震後の屋内には、靴を履いたまま入る

④家族の安全を確認し、隣近所に行方不明者がいないか確認する

⑤噂話などに惑わされないように、ラジオ放送などで正しい情報を得る

⑥避難が長引くことが予想される場合は、近所で食料や非常用品を分け合い、市から支援が来るまで助け合う

風　水　害

風水害は、気象庁発表の注意報や警報などにより事前に発生の危険性を知ることができ、対策・準備をする時間がある程度とれる災害といえます。普段から気象情報に気を配ることが重要です。

各種警報などの種類

気象現象や災害の内容によって、16種類の注意報、7種類の警報、6種類の特別警報を発表しています。

■注意報（大雨、洪水、強風、風雪、大雪、波浪、高潮、雷、融雪、濃霧、乾燥、なだれ、低温、霜、着氷、着雪）

大雨や強風などによって災害が起こるおそれのあるとき

■警報（大雨、洪水、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮）

　重大な災害が起こるおそれのあるとき

■特別警報（大雨、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮）

　重大な災害が起こるおそれが著しく大きいとき

■土砂災害警戒情報

　大雨警報（土砂災害）の状況で、土砂災害発生の危険度がさらに高まったとき

水害の種類

■氾濫

　集中豪雨などで一度に大量の雨が降ることが増えています。気象庁の注意報・警報に注意し、隣近所と情報共有をしながら、危険を感じたときは早急に避難するようにしてください。

▼

　その場所に降った雨水や、周囲から流れ込んできた水がはけきれずに溜まって起きる洪水

▼

　大雨により川の水かさが増し、堤防を越えたり、堤防を決壊させて川の水が外にあふれて起きる洪水

■土砂災害

　大雨などが引き金となって発生する土砂災害には、地鳴りや山鳴りがする、川の水位が下がる、川の水が濁るなど、前兆現象が発生する場合があります。気象庁の土砂災害警戒情報が発表されていなくても、隣近所に声を掛け合い早めに避難することが重要です。

▼がけ崩れ

　地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、斜面が突然崩れ落ちる現象。スピードが速く破壊力が大きいのが特徴

▼土石流

　集中豪雨や長雨などにより、谷や斜面の土砂が雨や川の水とともに一気に流れ出す現象。スピードが速く破壊力が大きいのが特徴

▼地すべり

　雨が地中にしみ込み地下水の水位を上げることにより、斜面の一部または全部が動き出す現象。広い範囲がゆっくりと移動し、被害範囲が大きくなるのが特徴

土砂災害警戒区域

　土砂災害から国民の生命を守る目的で施行された土砂災害防止法に基づき、市内で土砂災害のおそれがある箇所が土砂災害警戒区域に指定されています。これまでの230カ所に加えて、平成28年3月29日に新たに20カ所が追加され、合計で250カ所が指定されました。新たに追加された区域は次の表のとおりです。

　警戒区域内や近くに住んでいる人は、気象庁の注意報・警報・土砂災害警戒情報、前兆現象に注意し、いつもと違うなと感じたときは、早急に避難するようにしてください。

梅雨の季節は、土砂災害に十分な注意が必要です

毎年、全国各地で集中豪雨や長雨によるがけ崩れ、地すべり、土石流などの土砂災害が頻発しています。人命、財産を一瞬にして奪い去り、地域に深刻な被害をもたらすことから、国では6月を土砂災害防止月間に定めています。

　気象情報などに注意し、危険を感じたら速やかに避難するようにしましょう。

問合せ 防災安全課危機防災担当 電話23-5144

　　建設課道路維持係 電話23-8015

3月29日に追加指定された市内の土砂災害警戒区域等一覧（20カ所）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 地域 | 自然現象  の種類 | 渓流名  箇所名 | 所在地 | 土砂災害 | | 指定避難所 |
| 警戒  区域 | 特別警  戒区域 |
| 古川 | 急傾斜地の崩壊 | 山下 | 古川長岡字茂木 | ○ | ○ | 長岡小学校 |
| 権現山 | 古川荒谷字権現山 | ○ | ○ |
| 落合 | 古川雨生沢字きゅう沢 | ○ | ○ | 清滝小学校 |
| 三本木 | 土石流 | 上沢1 | 三本木伊場野字上ノ沢、字中ノ坊、字舘崎 | ○ | ○ | 三本木中学校 |
| 上沢2 | 三本木伊場野字上ノ沢、字舘崎、字中ノ坊 | ○ | ー |
| 程沢1 | 三本木伊場野字程沢、字舘崎 | ○ | ○ |
| 程沢2 | 三本木伊場野字祢宜沢、字舘崎、字程沢 | ○ | ○ |
| 稲荷沢 | 三本木秋田字東沢中、字松長根、字五輪沢、字桟婦 | ○ | ○ |
| 藤松下沢 | 三本木桑折字推路山、字七曲 | ○ | ○ |
| 磯ヶ沢 | 三本木桑折字藤松下 | ○ | ○ |
| 急傾斜地の崩壊 | 西沢 | 三本木字西沢 | ○ | ○ | 三本木中学校 |
| 沼下の2 | 三本木桑折字沼下 | ○ | ○ |
| 鹿野沢 | 三本木字鹿野沢、字天王沢 | ○ | ○ |
| 天王沢 | 三本木字天王沢、字鹿野沢 | ○ | ○ |
| 岩出山 | 急傾斜地の崩壊 | 二の構の2 | 岩出山字二ノ構、字城山 | ○ | ー | 岩出山文化会館 |
| 鳴子温泉 | 急傾斜地の崩壊 | 新屋敷の6 | 鳴子温泉字新屋敷 | ○ | ○ | 鳴子公民館・鳴子スポーツセンター、鳴子小学校 |
| 湯元の2 | 鳴子温泉字河原湯、字湯元、字上鳴子 | ○ | ○ |
| 地すべり | 原 | 鳴子温泉鬼首字百目木、字上田中前、字上矢木、字八幡原、字中田野 | ○ | ー | 鬼首地区公民館 |
| 田尻 | 土石流 | 小塩の沢 | 田尻小塩字大宮南、字塩沢二 | ○ | ○ | 沼部公民館 |
| 青崎の沢 | 田尻小塩字渋取、字青崎、字障子合二、字障子合一 | ○ | ○ |

以前に指定された地域は、宮城県公式ウェブサイトを参照してください。

宮城県公式ウェブサイト「土砂災害警戒区域等指定箇所（大崎市）」http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sabomizusi/kasyo-oosaki.html

今、災害に備える

いつ、どのように起こるか分からない災害。自分自身、そして大切な人を守るために、日ごろの備えや知識、地域との協力が大切です。

今後も市では地域、消防団、自主防災組織と協力し、防災に強いまちづくりに取り組んでいきます。

皆さんで力を合わせて、身近な笑顔を守りましょう。

問合せ 防災安全課消防・危機防災担当

電話23-5144

防災行政無線の整備を進めています

　防災行政無線は、災害時の緊急放送や平常時の市からのお知らせのため、市が独自に整備する、専用の無線通信システムです。現在は、デジタル方式の地域（古川・三本木・岩出山・鳴子温泉）とアナログ方式の地域（松山・鹿島台・田尻）があり、市内全域をデジタル方式にするため整備を進めています。

　災害時には市からの緊急放送に使用しますので、普段の「試験放送」が聞こえるかどうか、確認しておきましょう。

放送内容

■災害時の放送内容

　火災・気象災害・避難勧告などの緊急情報、熊出没情報、停電情報、通行止めのお知らせ　など

■平常時の放送内容

　正午の時報（放送テストを兼ねる）、地域・地区・行政区の情報（防災訓練・交通安全運動など）　など

試験放送

現在、デジタル方式の地域で時報チャイムや市からの広報を放送し、屋外拡声子局の試験放送を行っています。災害に備えて、自宅や職場で放送が聞こえるか確認してみましょう。

防災無線テレホンサービス

放送内容を聞き逃した時のために、6月から電話やウェブサイトで放送内容を確認することができます。雨や風の音などで放送内容がよく聞き取れなかった場合などに活用してください。

▼防災無線テレホンサービス　23-6560

▼大崎市ウェブサイト「大崎市デジタル防災行政無線」

　（ホーム > 防災 > 防災行政無線 > 大崎市デジタル防災行政無線）

<http://www.city.osaki.miyagi.jp/index.cfm/11,14928,186,html>

大崎市総合防災訓練・緊急速報メール訓練を実施します

市民が参加できる体験訓練もあります。この機会に、ぜひ体験してください。

日時　6月18日　9時～12時

場所　高倉小学校（古川地域）および周辺地区

被害想定　マグニチュード9.0の地震、大雨による水害を想定

訓練内容　避難訓練、初期消火訓練、救出訓練、炊き出し訓練、水防訓練、ライフラインに関する企業展示など

緊急速報メール（エリアメール）訓練

スマートフォンや携帯電話を活用して災害情報などを配信する「緊急速報メール」訓練を、総合防災訓練と併せて実施します。

配信日時　6月18日土曜日　9時30分

配信区域　市内全域

※配信日時に市外にいる場合は、　受信することができません。

利用携帯電話会社　NTTドコモ、

au、ソフトバンク

費用　受信者に通信料や情報料などは一切かかりません。

訓練内容　事前に携帯電話の受信設定を確認してください。

①画面に災害訓練情報を自動表示して、専用の着信音とバイ　ブレーションでお知らせします。

②「避難所開設」の内容で災害訓練情報を配信します。

※配信訓練です。避難所の開設は行いません。

③受診を確認した後で、配信元へのメール返信などは不要です。

※エリアメールの受信設定がされていない場合や未対応機　種の場合は受信できません。機器の受診設定や未対応機種　の確認などは、携帯電話会社各社のウェブサイトを確認す　るか、販売店にお問い合わせください。

熊本地震の発生

　東日本大震災から5年1カ月が経過した平成28年4月

14日、熊本県熊本地方を震源とする震度7の地震が、熊本県と大分県を中心に九州地方を襲いました。2日後の4月16日にも同じく震度7の地震が襲い、追い打ちをかけるように、人的被害や家屋の倒壊、土砂災害、断水、停電など被害が拡大していきました。

　5月9日現在、震度1以上の余震は1343回発生しています。1500人以上の人が負傷し、死者や行方不明者は50人を超えています。避難者は342カ所の避難所に1万3883人。電力は復旧しましたが、4町村5600世帯で断水が続いています。住宅は一部損壊を含め3万棟以上が被害を受けていますが、継続して調査中のため、いまだ被害の全容はつかめていません。

　尊い命を奪われた皆さんにご冥福を、避難生活をされている皆さんにお見舞いを申し上げ、一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

震災の経験を活かし、被災地の支援を

-平成28年（2016年）熊本地震災害支援-

支援活動の開始

　東日本大震災や平成27年

9月関東・東北豪雨災害の被災地である本市は、全国からの励ましや義援金、多くのボランティア、他自治体からの人的支援などに支えられ、今日にいたっています。

　熊本地震の発生から2日後の4月16日、大崎市民病院の災害支援部災害派遣医療チーム（DMAT）が厚生労働省の要請を受けて現地に出発、

5月2日には看護師を派遣し、災害発生当初に求められる避難所などの情報収集や運営の支援を行いました。

　5月12日と18日には、市から事務職、保健師、建築士など計16人の職員を派遣し、被災家屋の調査や被災者の戸別訪問、町内各施設の調査などの支援を行いました。時々刻々と状況が変わる被災地で、必要に応じた支援を継続して行っています。

　また、市の各施設に設置した募金箱には、「震災時の恩を返したい」と、多くの市民皆さんからの義援金をお預かりしています。

　東日本大震災を振り返り、当時の経験や思いを胸に、皆さんにも、自分のできる支援をお願いいたします。

「平成28年熊本地震」災害義援金受け付け

受付期間　６月30日木曜日　まで

受付場所　市民課、各総合支所市民福祉課、各基幹公民館

問合せ　社会福祉課地域福祉係　電話　２３－６０１２